



洗練された演奏で魅了しました

海上自衛隊佐世保音楽隊ふれあいコンサート in 志布志が開催されました。

10月9日、市文化会館において開催された同コンサートに、市内外から多数の来場者がありました。コンサートは、洗練された演奏と、笑いを誘うユーモアある演出もあり、満員の会場からは大きな拍手が送られ、「素晴らしい演奏に元気が出た」「また志布志で演奏してほしい」と感想が聞かれました。



教育長と熱く語り合いました

『教育長と語る会』が行われ、ジュニアリーダー12名が教育長と語り合い、交流しました。

10月1日、志ふれあい交流館にて、現在の志布志市や選挙権について、それぞれの思いや意見を発表しました。参加した子どもは「選挙に参加することは、未来の日本を一緒につくることにつながる。もっと志布志市の実情を知って自分の考えを持ちたい。」と感想を話しました。

地域の見守りネットワークが充実

「地域における見守り活動に関する協力協定」を締結しました。

9月30日、志布志市役所において志布志市、志布志市社会福祉協議会及び生協コープかごしまの3者が同協定を締結しました。今回の協定により生協コープかごしまが実施する配達販売や店舗販売時に見守り活動が行われることになり、支援を必要とされる方への迅速な対応が期待されます。



ロードミラーをきれいにしました

曾於南部郵便局長会（田浦天志部会長）のみなさんがロードミラーの清掃ボランティアを行いました。

9月24日、志布志地区のロードミラー60箇所の清掃を行いました。同会は、志布志市と大崎町の17の郵便局の局長で構成されています。ボランティア当日は、局長のご家族のほか社員など50名が参加し、交通の安全を守るため、雨風で汚れて見えにくくなったロードミラーを磨き上げました。



伝統芸能を身近に感じました

文化庁事業 文化芸術による子どもの育成事業「舞踊集団菊の会 日本の心を躍る」巡回公演が行われました。

10月17日、原田小学校体育館において同公演が行われ、同小学校児童と地域住民が伝統芸能を鑑賞しました。プログラムの最後には、同小学校の児童が約1か月間練習した銭太鼓を、菊の会の皆さんと共に披露しました。児童からは「伝統芸能を身近に感じられてよかった」と感想が聞かれました。



空手の大会で好成績を収めました

真輝塾の選手が空手の大会に出場し、8名が入賞するなど好成績を収めました。

9月22日、熊本県宇城市において開催された空手の大会「合戦松橋の戦い」に真輝塾の選手が出場しました。真輝塾の選手は、毎週水曜日と第2、第4金曜日に志布志武道館で練習しています。同大会では、組手の部で8名が入賞するなど日頃の練習の成果を十分に発揮しました。

戦争の悲惨さを語り継ぐ

戦中・戦後の暮らしを女性の視点で語り継ぐ淑女会の皆さんが有明中学校でおはなし会を開きました。

10月19日、修学旅行で長崎を訪れる2年生41人を対象に平和学習の一環として実施され、紙芝居や体験談で戦争の悲惨さを訴えました。空襲や食糧難など今では想像もできない生活や、長崎で学徒動員していた際の被爆体験など、極限状況を生き抜いた方々の話に生徒たちは真剣に聞き入っていました。



祝！ FM 志布志開局 10 周年

2006年10月13日の開局以来、志布志の情報を届けてきたFM志布志が開局10周年を迎えました。

10月8日、志布志町志布志の島津ビル1階FM志布志スタジオにおいて、開局10周年を記念して「志布志の風」の特別番組が生放送されました。イベントや地域の情報、そこに住む人々の声を伝え続けてきたFM志布志の北川美喜子局長は「皆様のおかげでやってこられた」と感謝しました。



県畜産共進会が開催されました

始良中央家畜市場で開催された鹿児島県畜産共進会において、本市から出品した黒毛和牛が好成績を収めました。

10月1日、第65回鹿児島県畜産共進会が開催され、県内から5部門、合計79頭の黒毛和牛が出品されました。

本市からは、9月15日に行われた曾於地区秋季畜産共進会において曾於地区代表として選ばれた上村春夫さんの「かつよ」号と山下トシ子さんの「はるこ」号、「ゆりこ」号、「あさ」号が出品されました。

審査の結果、上村春夫さんの「かつよ」号が2回以上出産している雌牛の部門（第4部成雌区）において最優秀賞2席に選ばれました。また、山下トシ子さんの「はるこ」号、「ゆりこ」号、「あさ」号が母・娘・孫娘牛の3頭1組で出品する部門（第5部高等登録群区）において最優秀賞3席に選ばれました。

写真上：上村春夫さんと「かつよ」号

写真下：山下トシ子さんと「はるこ」号、「ゆりこ」号、「あさ」号



ホタル舞う川を取り戻そう

泰野地区でメダカや魚が泳ぐきれいな尾野見川にしようと清掃活動が行われ、約80人が参加しました。

10月8日、水土里サークルのもんそ会、泰野地区ふるさとづくり委員会、泰野小学校PTAが合同で清掃しました。ふるさとの川をみんなで守ろうという声が地域全体に広がり、今年で5年目を迎えました。参加者は、「きれいになって嬉しい」「ホタルの舞う川が取り戻せよう」と期待していました。



避難のときは「お・か・し・も」

有明保育園で避難訓練が行われ、志布志消防署による消火器の使い方の講習などが行われました。

10月17日、志布志消防署員の指導の下、避難訓練が行われ「おさない、かけない、しゃべらない、もどらないの『おかしも』を守って安全に避難してください」と講話がありました。また、女性消防隊が、様々な災害の対応をわかりやすく〇×クイズで説明し、園児は楽しみながらも真剣に話を聞きました。



108回目の伊崎田相撲開催

一世紀を超える伝統のある伊崎田相撲大会が開催され、土俵上では熱戦が繰り広げられました。

10月16日、伊崎田小学校の相撲場で第108回となる同大会が開催されました。同大会は、明治時代に戊申證書の発布を記念して始められました。当日は、小学生、中学生、一般の取組のほか、赤ちゃん土俵入りや中学生が制作した化粧まわしコンテストなどが行われ、盛大に開催されました。

日頃の練習成果を発表しました

10月23日、第10回障がい者文化活動発表会が有明地区公民館で開催され約120人が参加しました。

障がい者等の社会参加を目的として行われた文化活動発表会では、団体による太鼓や舞踊、手話コーラス、個人による歌やピアノの弾き語り、打楽器演奏などが披露されました。

皆さん緊張しながらも、練習の成果を発揮し、会場からはたくさんの拍手が起きました。



山田水産(株)と立地協定を締結

10月12日、市と山田水産(株)が、県の立会いのもと新工場増設のための立地協定を締結しました。

同社は、大分県佐伯市に本社を置き、志布志市では鰻の養殖、蒲焼製造、販売の一貫生産経営を行っています。今回、鰻料理のレストランや店舗が併設された鰻蒲焼真空パック製造や地元農産品を使った惣菜を製造する工場を増設し、雇用創出や観光客誘致など地域経済の発展への貢献が期待されます。

恒久平和の誓いを新たに

戦没者追悼式に遺族等約350人が参加し、折鶴献納等を行い、平和への誓いを捧げました。

10月15日、市文化会館で戦没者追悼式を挙行しました。遺族代表の山吉直弘さんが「戦争のない社会に向けて恒久平和の発信を続けていく」と追悼のこたばを捧げられました。また、伊崎田小6年の野村大和さんと伊崎愛花さんが平和のメッセージと折鶴献納を行い、平和への誓いを捧げました。



市内では
いろんなことが
ありました。

まちの話題



自衛官募集相談員をお願いしました

志布志市と自衛隊鹿児島地方協力本部が田浦天志さん（志布志町帖）に自衛官募集相談員を委嘱しました。

10月25日、市長室において委嘱状の交付がありました。自衛官募集相談員の皆様には、自衛官志願者に関する情報の提供、自衛隊鹿児島地方協力本部の行う募集のための様々な広報の支援、防衛意識の普及等、防衛基盤の育成にも貢献する極めて重要な役割を担っていただいています。

防災意識の向上が図られました

南海トラフを震源とする震度6弱の地震が発生し、大津波警報が発表されたと想定して避難訓練が行われました。

11月4日、志布志湾沿岸部に「避難指示」を発令し沿岸部を中心とする避難訓練を実施しました。約1000名が参加し、緊迫した本番さながらの訓練が行われました。避難訓練後は、旅客船埠頭で消防団による合同消火訓練や鹿児島県防災ヘリによる救助活動、市文化会館では防災講演会が行われました。



第11回

志布志市ふるさとまつり

～旬の味覚を腹いっぱい!!～



◆日時：平成28年11月27日（日）
9：00～16：00（小雨決行）

◆会場：有明開田の里公園

●総合司会：野口たくお

●ゲスト：あまみ柚人

パフォーマンス・マジック K@ITO

●イベントもりだくさん！

志布志マルシェ（新鮮な野菜とおしゃれ雑貨）

ふるさと市場（物販ブース・飲食ブース）

健康広場、環境広場、子ども広場

フリーマーケット、舞台演芸、お楽しみ抽選会

※松山・志布志方面より、無料シャトルバス運行！

■問い合わせ先：ふるさとまつり実行委員会（港湾商工課内） Tel：474-1111（内線283）